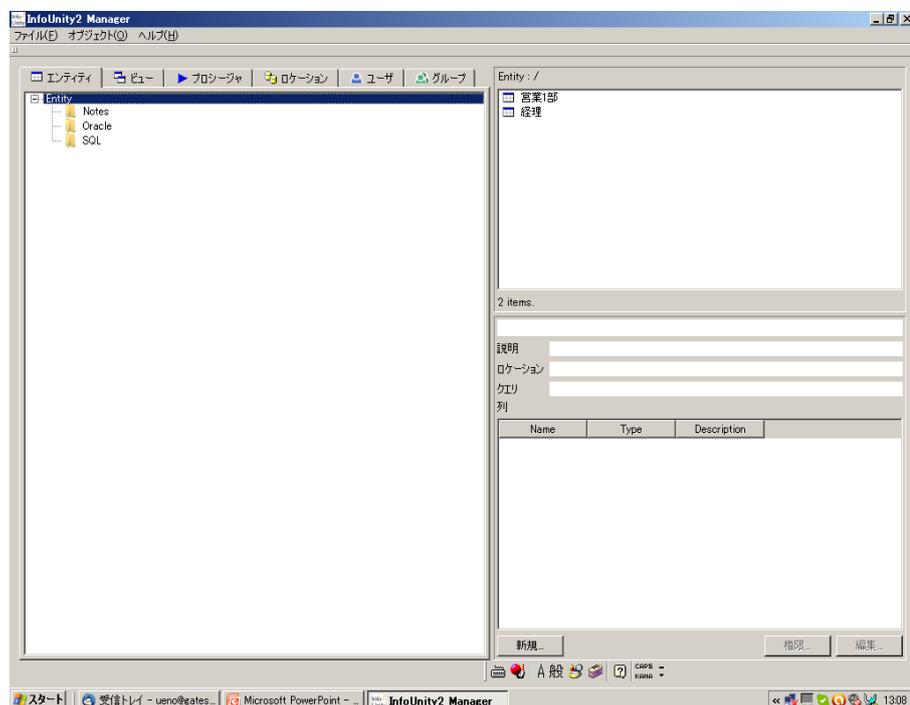


InfoUnity2 Manager ユーザガイド

本資料は、InfoUnity2 Manager を利用する時に参照するユーザガイドとなります。
仮想データ製品である InfoUnity v1.3 を 64Bit 対応させ進化させた製品が InfoUnity2 となります。
本資料をもとに各種設定をいただき、ご活用頂ければ幸いです。

<Manager 画面>

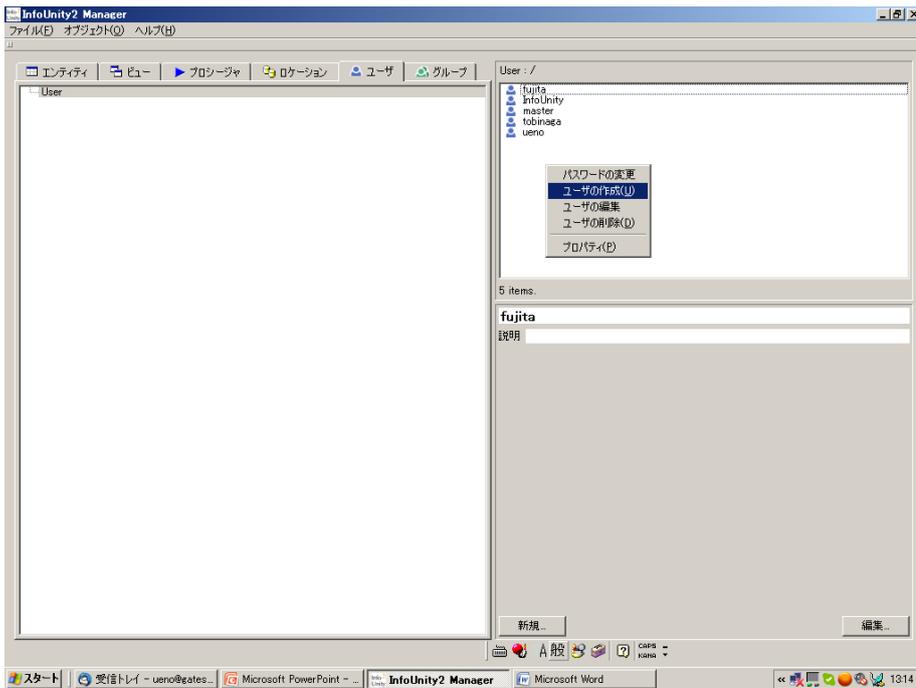


*InfoUnity2 特徴

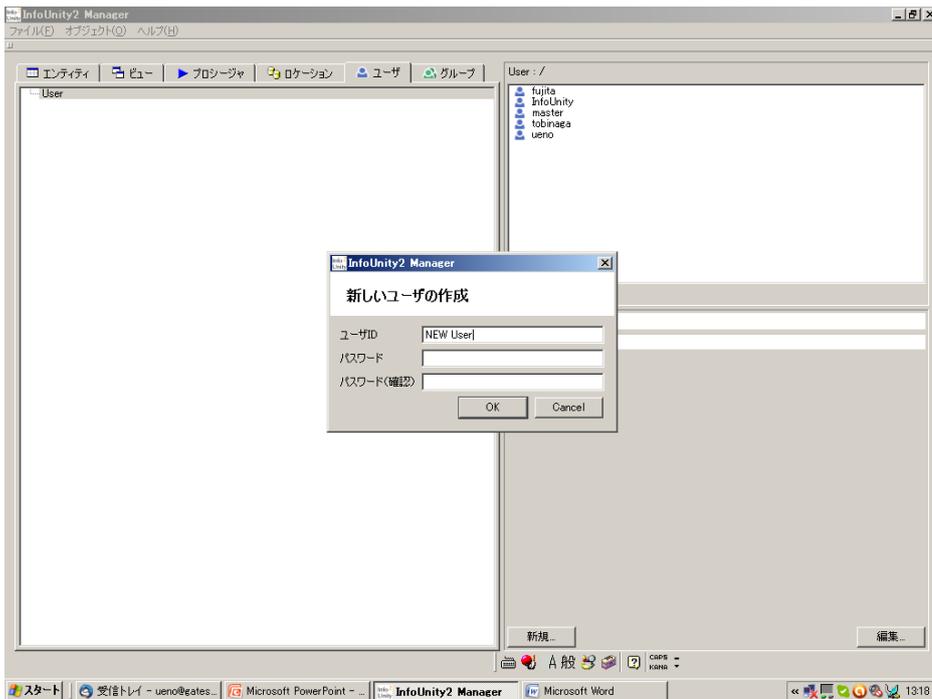
- Oracle/MS SQL サーバ等、様々なデータベース接続を一元管理できる製品です。
- Microsoft 製品に完全に準拠しております。
(Microsoft Windows Server 2012 64bit 版まで動作確認済)
- DB を利用した、アプリケーションと一緒に利用することができます。
- 日本製ですので、細かな要望にも対応可能です。

< 1 : ユーザの作成 >

- ① Manager 画面より、“ユーザ TAB” をクリックします。
- ② 右上の “User:/部” にて右クリックし “ユーザの作成” をクリックします。

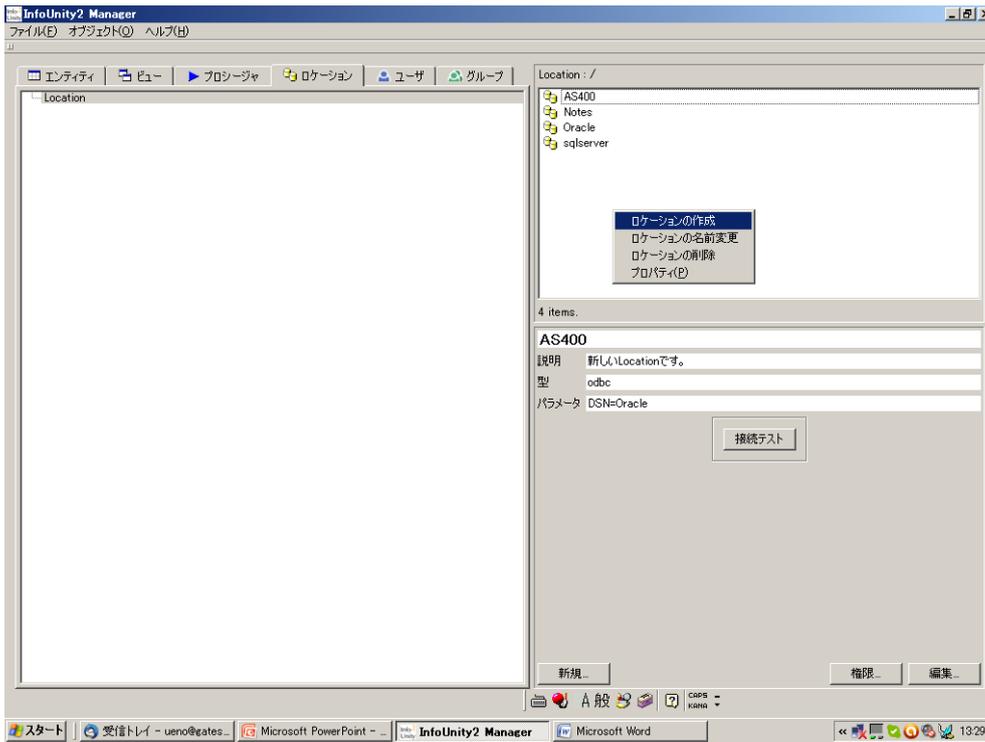


- ③ “新しいユーザの作成” 画面がポップアップしますので、ユーザ ID/パスワードを入力します。これで完了します。

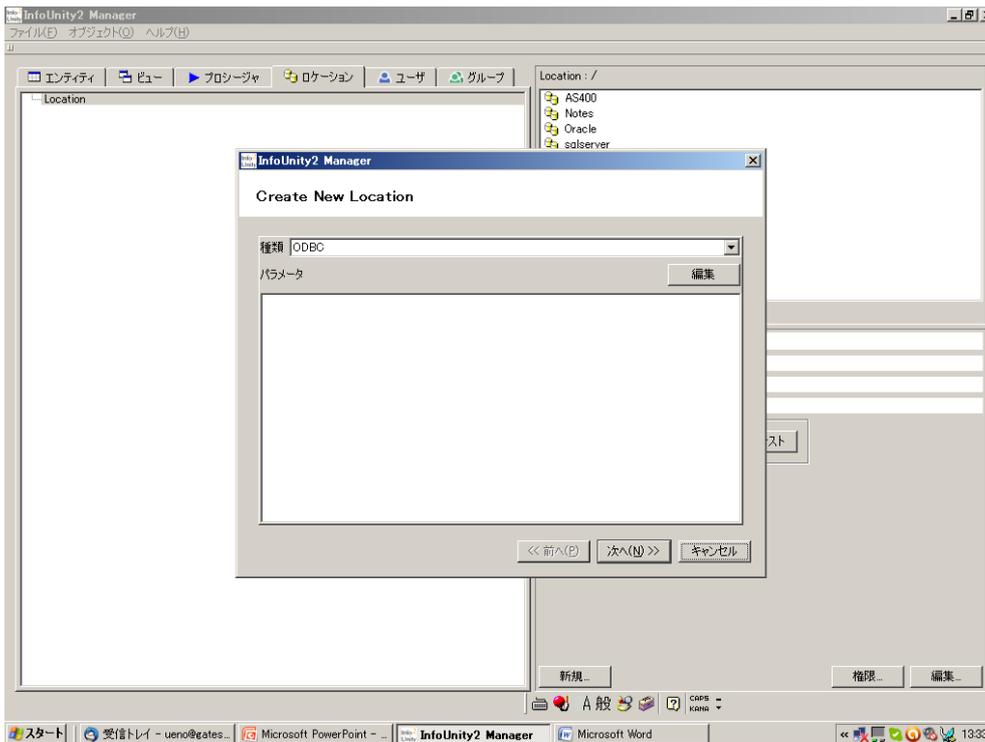


< 2 : ロケーションの登録 >

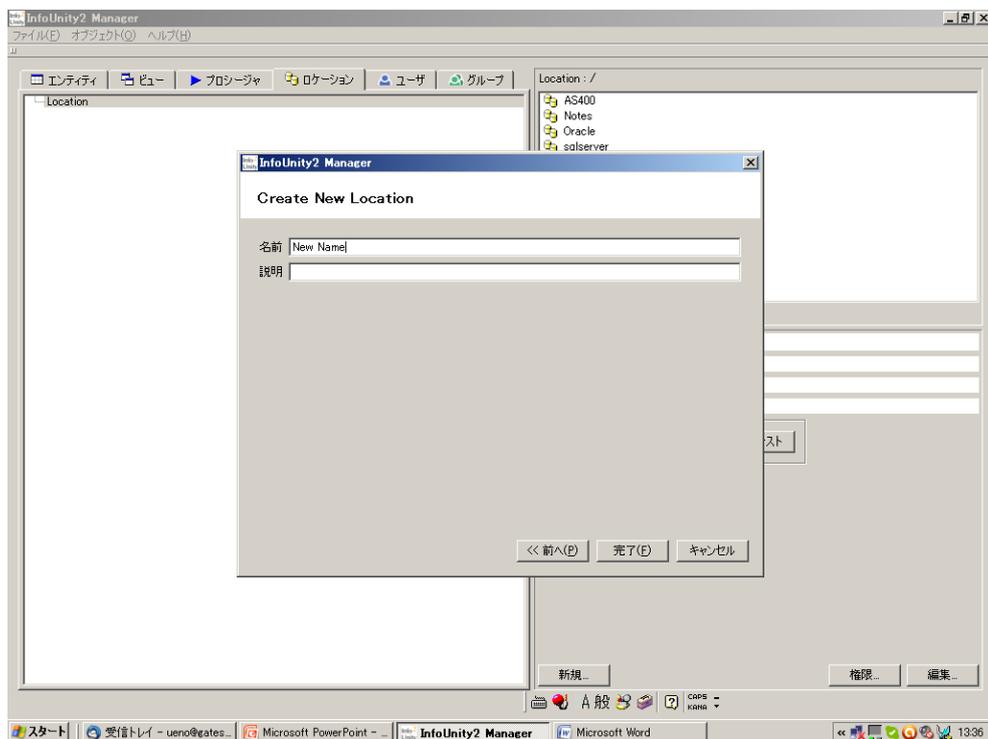
- ① Manager 画面より、“ロケーション” TAB をクリックします。
- ② 右上の “Location: /” 部にて右クリックし “ロケーションの作成” をクリックします。



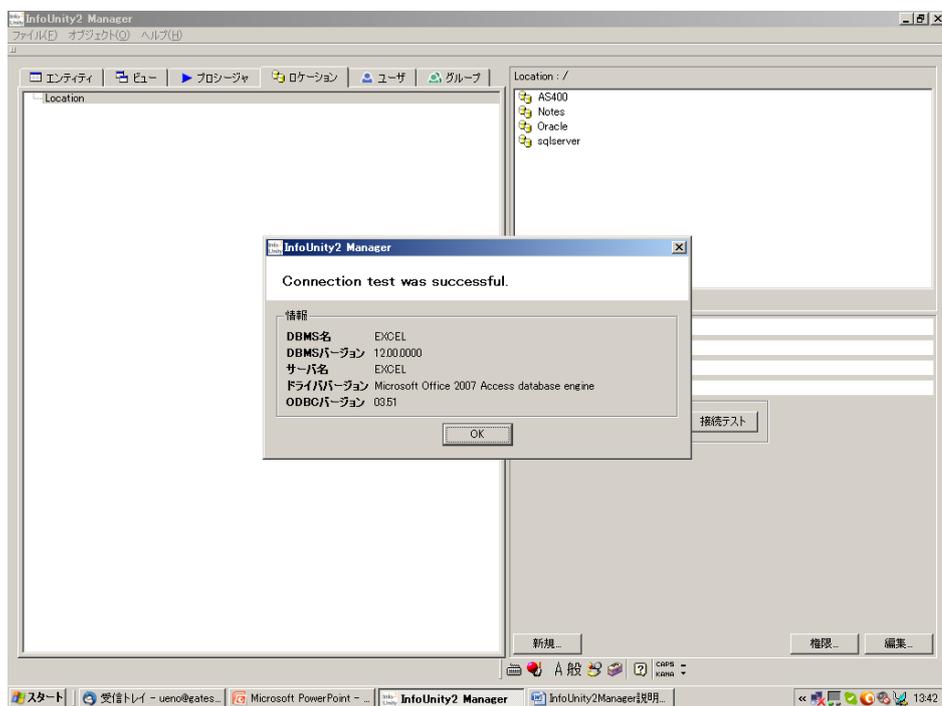
- ③ “Create New Location” 画面がポップアップしますので、次へを入力します。



④ 名前/説明を入力し、完了いたします。

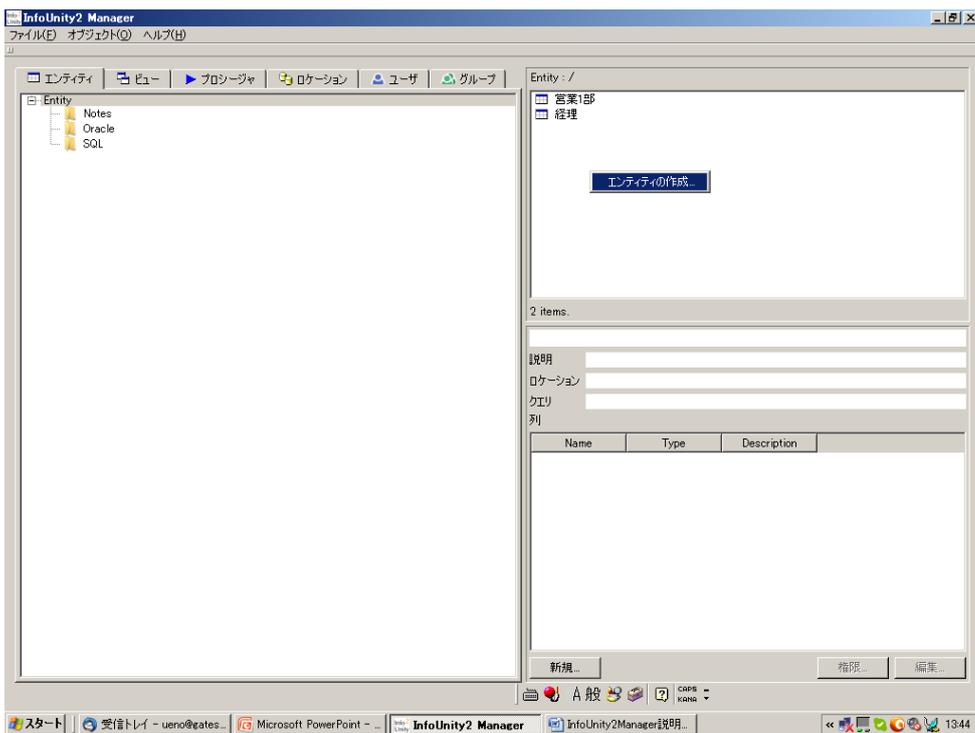


* 正しくロケーションが作成され、接続をテストすると“Connection test was successful”となります。

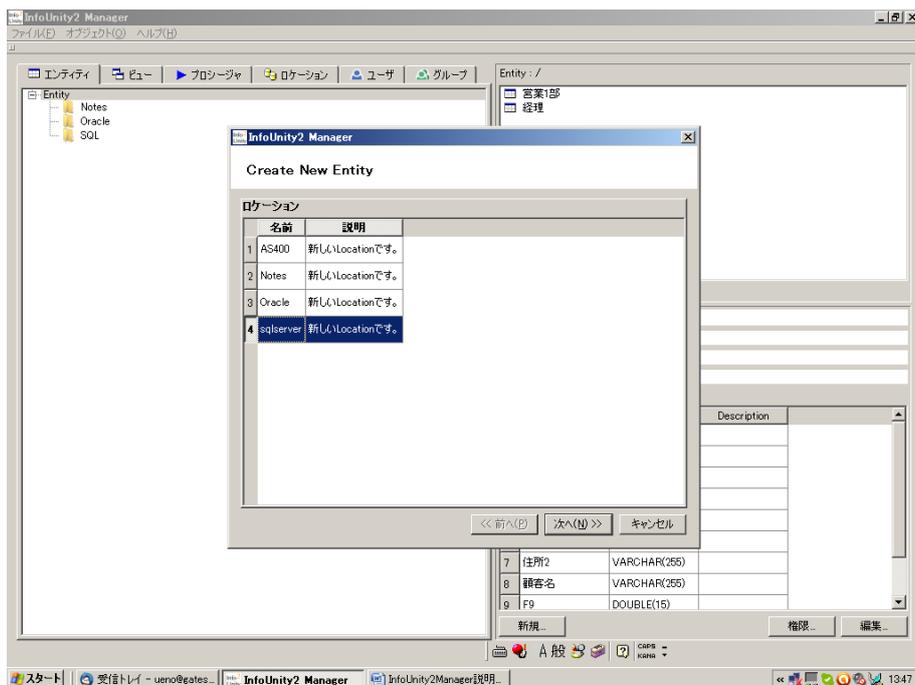


< 3 : エンティティの作成 >

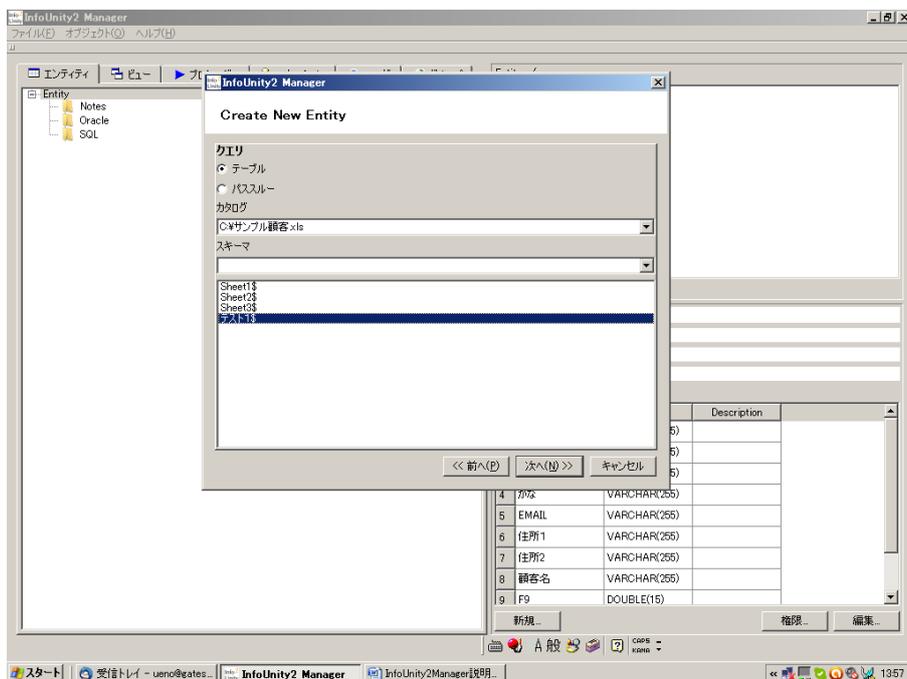
- ① Manager 画面より、“エンティティ” TAB をクリックします。
- ② 右上の “Entity:/” 部にて右クリックし “エンティティの作成” をクリックします。



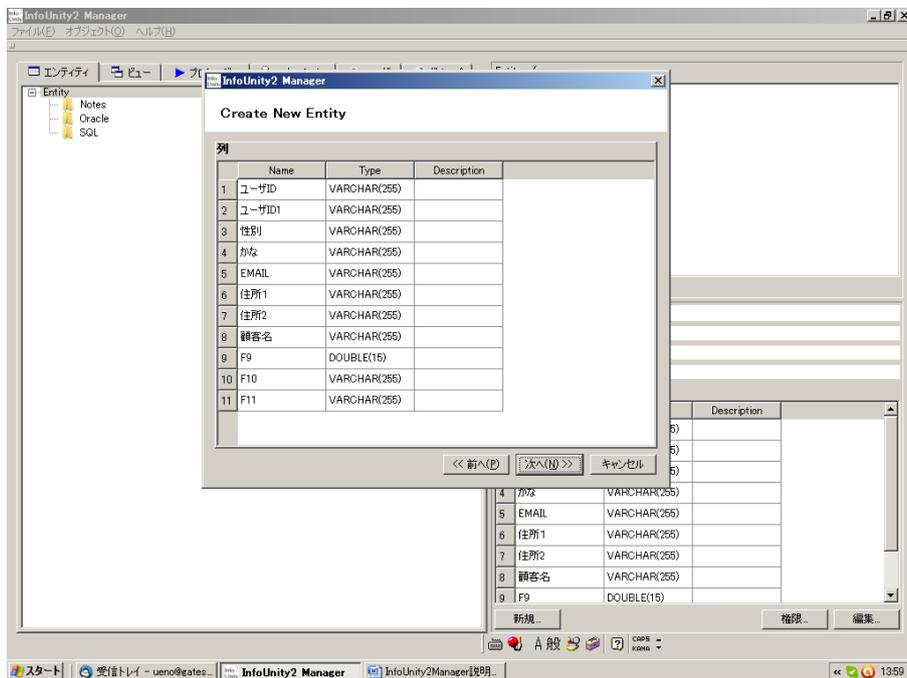
- ③ “Create New Entity” 画面がポップアップしますので、ロケーションを選択し “次へ” を入力します。



- ④ ロケーションより、必要なテーブルを選択し“次へ”を押します。



- ⑤ 接続したいテーブルの列を自動で読み込めますので、“Type/Description”を確認し、“次へ”を押します。



⑥ 最後にエンティティの名前と説明を入力し、“完了” を押して完成です。

